

2021年3月卒者(大学・大学院卒) 「新卒者採用に関する進捗調査」 集計結果報告

公益財団法人就職支援財団が、県内企業の2021年3月卒業予定の新卒者(大学・大学院卒)採用活動の12月時点での状況について調査しました。

調査の趣旨

この調査は、静岡県内企業における新卒採用活動の現時点での進捗状況を収集し、企業・学校・学生へタイムリーに情報を展開することで、今年度の企業の採用活動、学生の就職活動への対応策提言の資料としていくものです。

調査要領

■調査対象

静岡県内企業の経営者もしくは人事担当者

従業員数: 49名以下32.1%、50～99名23.2%、100～299名25.5%、300名以上19.2%

業種: 製造業28.8%、建設業12.5%、卸売・小売業17.6%、サービス業33.9%、その他7.2%

■調査期間

2020年12月11日～2021年1月5日

■調査方法

2020年8月実施「新卒者採用に関する追加調査」の調査票送付先及び、新卒媒体やイベント等で新卒者を募集している企業から2,500社を抽出。調査依頼文を郵送し、WEBサイトにてアンケート回答

■有効回答数

552サンプル（有効回答率 22.1%）

※集計は、調査対象のプロフィール以外、非該当・不明を除いて実施。また、小数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

<調査に関する問い合わせ先>

公益財団法人 就職支援財団

担当：鈴木 TEL 054-271-3111

【総括】	3P
【調査結果】	
Ⅰ. 2021年3月卒者(大学・大学院卒)の採用活動実施状況	4P
Ⅱ. 採用活動終了企業の活動実績	5P
Ⅲ. 選考プロセスにおける状況の前年度比較	5-6P
Ⅳ. 2021年3月卒者(大学・大学院卒)の採用活動総括	6-7P
Ⅴ. インターンシップの実施状況	8P
Ⅵ. 今後の新卒採用活動	9P

＜今年度採用活動の概況＞

コロナ禍で採用スケジュールの遅れが見られるが、採用環境は全般的に改善傾向にある。

～業種ごとに採用意欲の違いが見られる。「卸売・小売業」は採用意欲が高く、「製造業」「サービス業」は低下している。

- ①採用計画継続企業の割合の減少(図表1、2)、採用予定人数の充足見込みの割合の増加(図表4)、応募者数増加の割合の増加(図表8)、内定辞退者の減少割合の増加(図表13)など、採用環境は全般的に改善傾向にある。今年度の採用活動の印象は、前年度と比較して、「厳しくなった」と感じている企業の割合が減少し、2016年の調査以来はじめて5割を下回った。(図表16)。
- ②採用活動を終了した時期は前年よりも遅く、10月～12月の割合が高くなっている(図表6)。採用活動を終了した理由で最も多いのが「採用人数に達したから」で、その割合は5割を超えた(図表7)。
- ③前年と比較した採用人数は「減る」割合が「増える」割合を上回った(図表14)。ただ、コロナの影響からか、業種別ではその傾向に違いがでっており、「卸売・小売業」は「増える」割合が高く、「製造業」「サービス業」は「減る」割合が高くなっている(図表15)。
- ④新型コロナによる影響はやや低下しているが、依然として8割が影響あると回答している(図表17)。ただ、コロナの影響があっても、「採用人数を変えない」企業の割合が65%と最も多い(図表19)。また、コロナ禍でリモートの活用状況は5割を超えているが、地域別に見ると東部地区の活用度合いが他地域よりも10ポイント低くなっている(図表20、21)。

＜インターンシップの概況＞

インターンシップの実施率は低下しているが、実施する企業は前年よりも回数を増やす傾向にある。

内定者にインターンシップ参加者がいる割合が増加しており、採用との結びつきはさらに強まっているようだ。

- ①コロナの影響からか、インターンシップ実施率は、前年を8ポイント下回る51%となっている(図表19)。
- ②インターンシップ実施企業の実施回数は、前年よりも「増やす」企業が、「減らす」企業の割合を3倍弱上回っている。全体として実施率が低下している中で、実施企業の積極度は増しており、2極化傾向にあるようだ。
- ③今年度内定を出した学生の中で、自社のインターンシップに参加している割合は46%で前年を11ポイント上回っている(図表24)。全ての業種でその傾向が見られ(図表25)、前年よりも採用との結びつきが強くなっている状況がうかがえる。

＜次年度の新卒採用活動について＞

全体的には採用意欲は減退傾向にあるが、新型コロナの影響により状況が見通せない企業が多い。

従業員300人以上の企業、サービス業の減退傾向が強く見られる。

採用活動でのリモートの活用はさらに増加していきそうだ。

- ①次年度の新卒採用予定人数は、「減少予定」の企業が「増加予定」の企業を上回っているが、「わからない」としている企業の割合が3割弱となっている(図表28)。従業員規模別では、300人以上の企業の「減少予定」が最も高い。業種別では、「サービス業」が「減少予定」の割合が最も高くなっている。「卸売・小売業」が唯一「増加予定」の割合が「減少予定」の割合を上回っている(図表29)。
- ②今年度リモートを活用した企業の6割は次年度もリモートを活用する意向がある。今年度リモートを活用していない企業では、その割合は2割となっているが、コロナの影響が続けばその割合は高まっていきそうだ。学生との積極機会が減少するコロナ禍では、やはりリモートの活用が鍵となりそうだ。

※総括及び調査結果のTOPICSのコメントにある“前年”とは、“前年同時期”の調査となります。

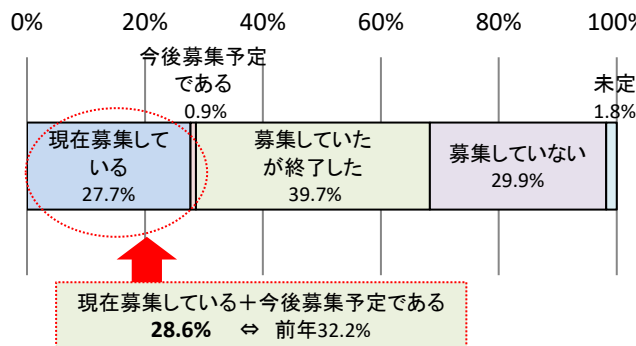
【調査結果】

I. 2021年3月卒者(大学・大学院卒)の採用活動実施状況

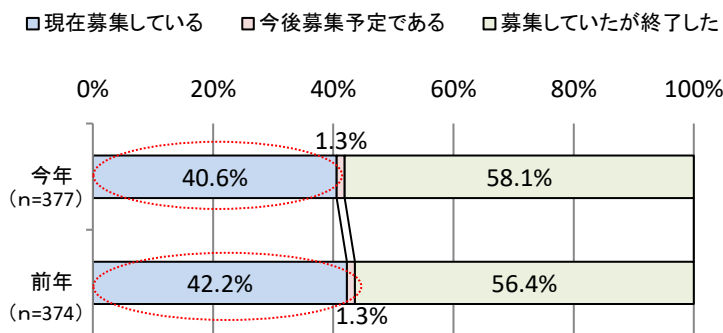
<TOPICS>

- 採用活動を継続している、あるいは募集予定のある企業は全体の29%と前年を3ポイント下回っている(図表1)。採用意向のある企業に絞ると、42%企業が採用活動を継続している(図表2)。業種別に見ると、建設業、卸売・小売業の活動継続率が他業種よりも高くなっており、前年よりも上回っている(図表3)。
- 今年度の採用計画を充足できそうな企業は全体の40%で前年を3ポイント上回っている(図表4)。全ての従業員規模で、充足を見込んでいる企業の割合が前年よりも上回っている(図表5)。

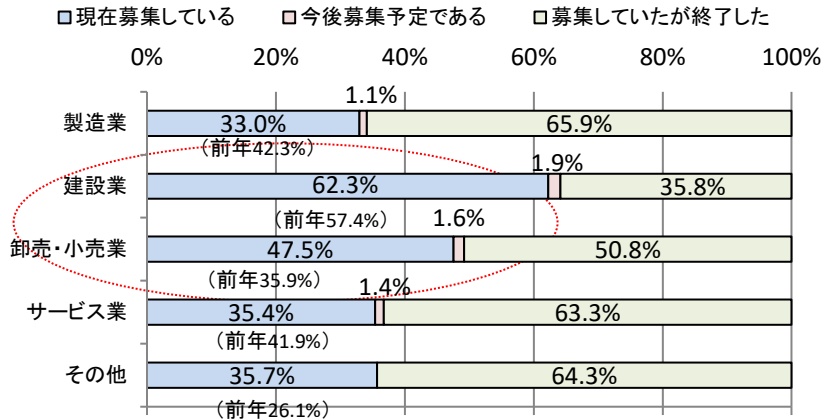
(図表1) 2021年3月卒者の採用募集状況(n=552)



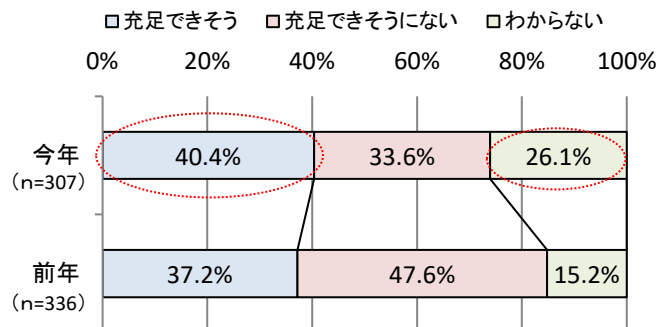
(図表2) 採用意向のある企業の活動継続率



(図表3) 業種別: 採用意向のある企業の活動継続率



(図表4) 今年度の新卒採用計画充足見込



(図表5) 従業員規模別: 今年度の新卒採用計画充足見込

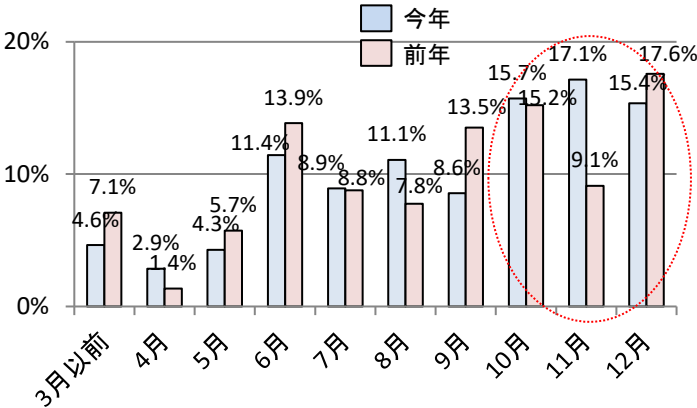
<今年>		<前年>	
	充足できそう		充足できそう
49人以下	30.3		25.3
50～99人	33.3		32.6
100～299人	43.0		40.4
300人以上	59.4		53.5

II. 採用活動終了企業の活動実績

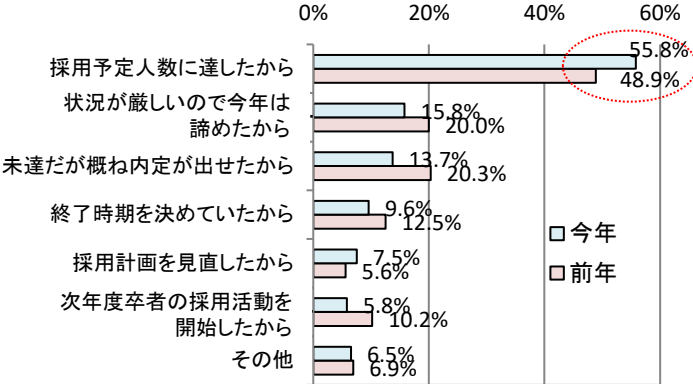
<TOPICS>

- 採用活動の終了時期は「11月」が最も多く、2番目が「10月」、3番目が「12月」となっている。「10月」～「12月」の3ヶ月で全体の5割弱を占めており、その数値は前年を6ポイント上回っている。(図表6)。
- 採用活動を終了した理由は、「採用予定人数に達したから」が56%と最も多く、前年を7ポイント上回っている。「状況が厳しいので今年は諦めたから」「未達だが概ね内定が出せたから」が続いているが、いずれも前年数値を下回っている(図表7)。

(図表6) 採用活動を終了した時期(今年n=280、前年n=296)



(図表7) 採用活動を終了した理由(n=292、複数回答)

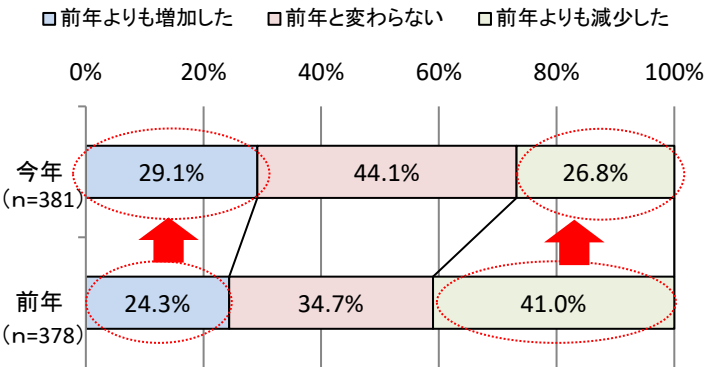


III. 選考プロセスにおける状況の前年度比較

<TOPICS>

- 応募者数は「前年と変わらない」企業の割合が44%と最も多い。「前年よりも増加した」企業の割合は29%で、前年より5ポイント増加し、「前年よりも減少した」企業の割合は27%で、前年より14ポイント下回っている(図表8)。従業員規模別でその傾向が最も強く見られるのが、「300人以上」企業となっている(図表9)。
- 県外学生の応募者数が「前年よりも増加した」企業の割合は、「前年よりも減少した」企業の割合を9ポイント上回っている(図表10)。地域別で見ると、「県西部」地区が「前年よりも増加した」企業の割合が最も高くなっている(図表11)。
- 内定辞退のあった企業は58%で、前年を3ポイント下回っている(図表12)。
- 前年度と比較した内定辞退者数は「変わらない」企業が54%と最も多く、前年調査を9ポイント下回っている。「前年よりも減少した」企業の割合は、「前年よりも増加した」企業の割合よりも11ポイント上回っている(図表13)。

(図表8) 応募者数の前年度との比較



(図表9) 従業員規模別: 応募者数の前年度との比較

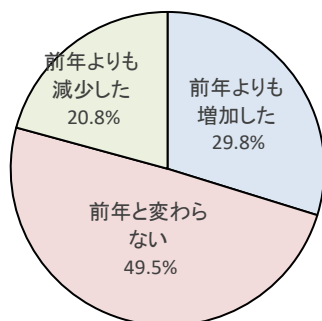
<今年>

	前年よりも増加した	前年と変わらない	前年よりも減少した
49人以下	29.5%	52.3%	18.2%
50～99人	21.3%	47.5%	31.3%
100～299人	29.8%	36.8%	33.3%
300人以上	34.3%	42.4%	23.2%

<前年>

	前年よりも増加した	前年と変わらない	前年よりも減少した
49人以下	26.6%	40.5%	32.9%
50～99人	22.9%	35.4%	41.7%
100～299人	28.8%	33.7%	37.5%
300人以上	19.2%	30.3%	50.5%

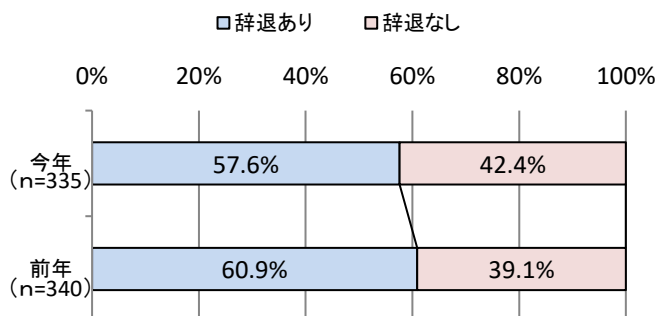
(図表10) 県外学生の応募者数の前年度との比較
(n=366)



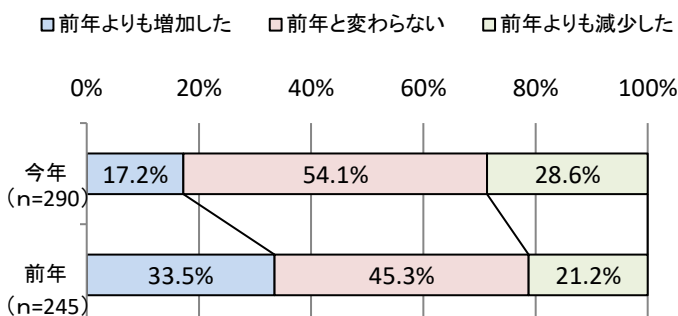
(図表11) 地域別:
県外学生の応募者数の前年度との比較

	増加した	変わらない	減少した
県東部	26.1	49.5	24.3
県中部	29.3	46.6	24.1
県西部	32.8	52.9	14.3

(図表12) 内定辞退の有無の前年度との比較



(図表13) 内定辞退者数の前年度との比較

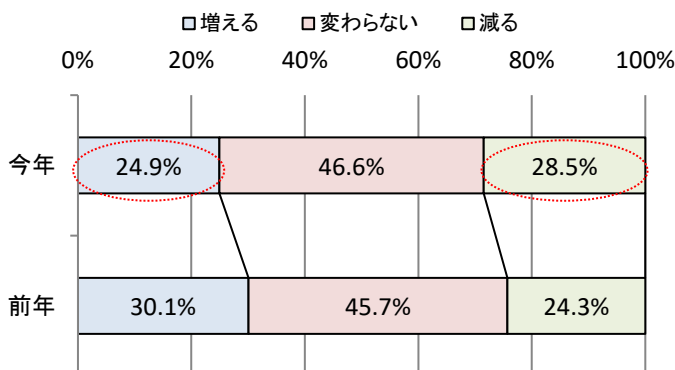


IV. 2021年3月卒者(大学・大学院卒)の採用活動総括

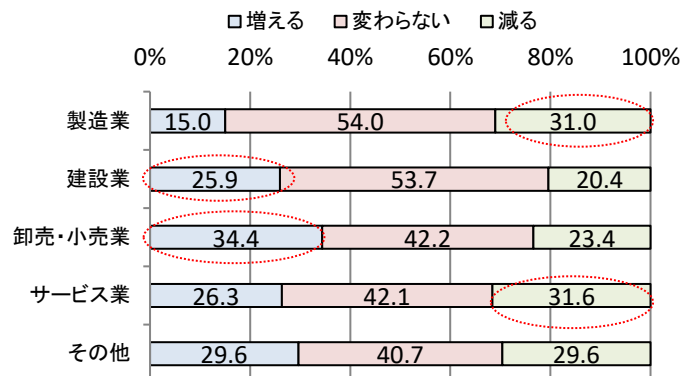
<TOPICS>

- ・前年よりも採用人数が「減る」と回答した企業が、「増える」と回答した企業を4ポイント上回っている(図表14)。業種別では、「建設業」「卸売・小売業」が「増える」と回答した企業の割合が多く、「製造業」「サービス業」が「減る」と回答した企業の割合が多くなっている(図表15)。
- ・今年度の新卒採用活動の印象を「厳しくなった」とした企業の割合は、44%で前年を14ポイント下回っている(図表16)。
- ・新型コロナが採用活動に影響している企業は80%で、今年8月調査よりも4ポイント下回っている(図表17)。具体的な影響は、「学生との接触機会の減少」が78%と最も高くなっている(図表18)。新型コロナによる採用人数変更の有無については、「変えない」としている企業が65%と最も多い(図表19)。
- ・リモートの活用は、「説明会・面接において活用」が最も多い。リモートの活用企業の割合は、全体の55%となっている(図表21)。

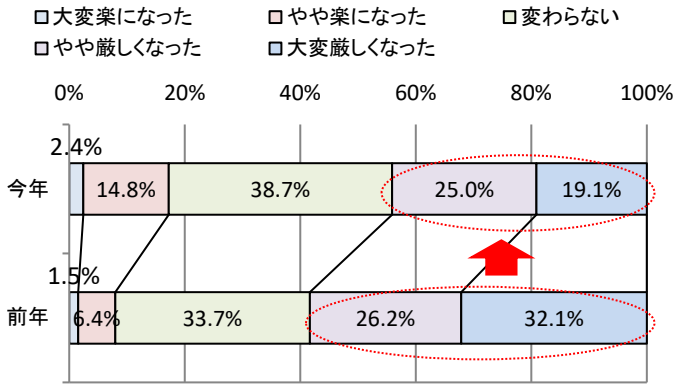
(図表14) 前年と比較した新卒採用人数 (n=397)



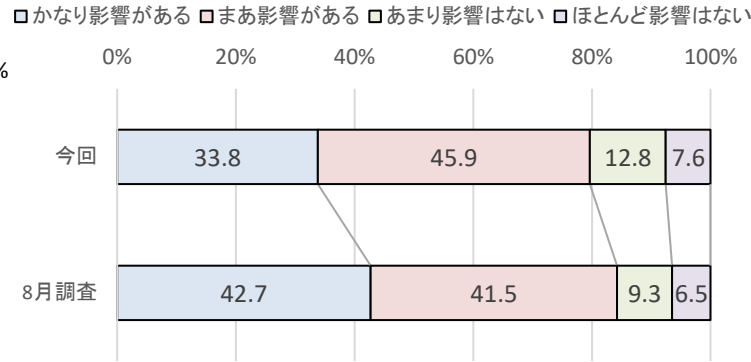
(図表15) 業種別: 前年と比較した新卒採用人数



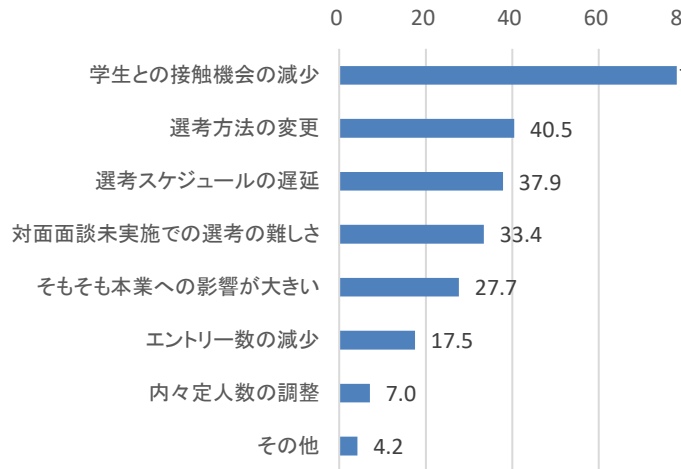
(図表16)今年度の新卒採用活動の印象(n=372)



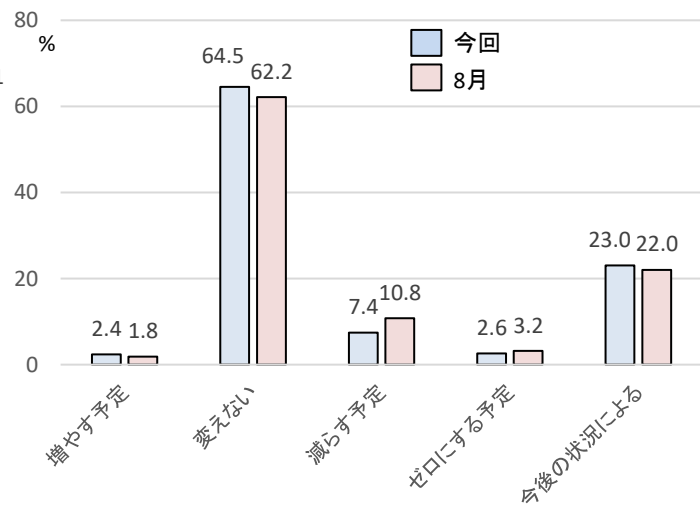
(図表17)新型コロナの採用活動への影響の有無(n=423)



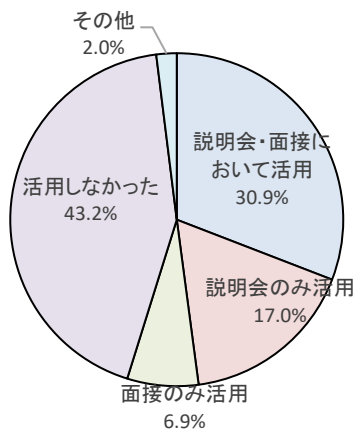
(図表18)新型コロナの具体的影響(n=378)



(図表19)新型コロナによる採用人数変更の有無(n=417)



(図表20)リモートの活用状況(n=405)



(図表21)地域別:リモートの活用状況

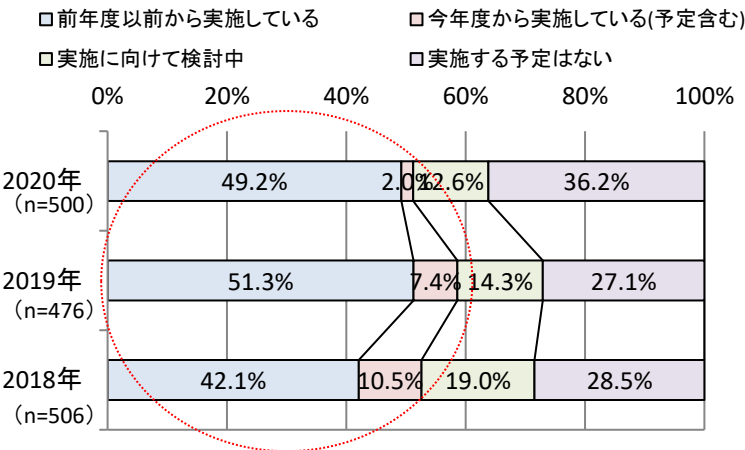
	説明会・面接において活用	説明会のみ活用	面接のみ活用	活用しなかった	その他
県東部	25.6	15.7	6.6	50.4	1.7
県中部	29.5	17.4	9.4	40.3	3.4
県西部	35.6	18.2	4.5	40.9	0.8

IV. インターンシップの実施状況

<TOPICS>

- ・インターンシップの実施率は51%で、前年を8ポイント下回っている(図表22)。実施割合は全ての従業員規模で前年を上回っている(図表23)。
- ・今年度の内定者の中に、インターンシップ参加者がいる割合は46%で前年を11ポイント上回っている(図表24)。この割合は、全ての業種で前年を上回っている(図表25)。
- ・インターンシップの実施回数については、「前年と同程度」としている企業が70%と最も多い。「前年よりも増やす」企業の割合は、「前年よりも減らす」企業よりも15ポイント上回っている(図表26)。
- ・インターンシップの実施手段は、「これまで通り対面で実施」と回答した企業が44%と最も多い。リモートを活用すると回答した企業は39%となっている(図表27)。

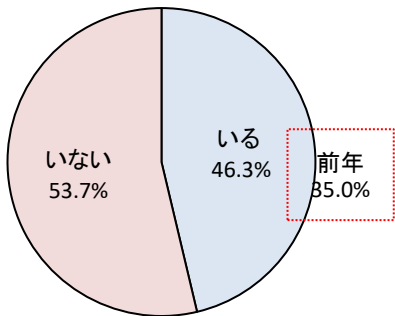
(図表22) インターンシップの実施状況



(図表23) 従業員規模別：インターンシップの実施状況

	実施している (予定含む)	＜前年＞ 実施している (予定含む)
49人以下	32.4%	40.0%
50～99人	43.3%	51.3%
100～299人	58.9%	67.2%
300人以上	77.7%	81.4%

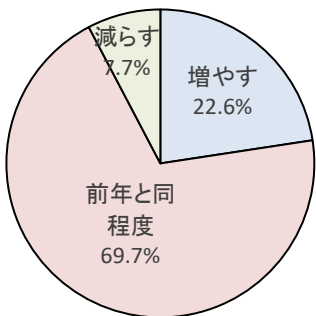
(図表24) 内定者におけるインターンシップ参加者の有無 (n=283)



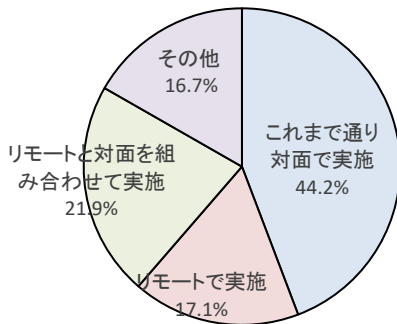
(図表25) 業種別：内定者におけるインターンシップ参加者の有無

	いる	＜前年＞ % いる
製造業	38.6	27.8
建設業	45.2	40.0
卸売・小売業	52.3	32.8
サービス業	46.3	40.4
その他	63.2	26.3

(図表26) インターンシップ実施回数の前年比較 (n=208)



(図表27) インターンシップの実施手段 (n=251)

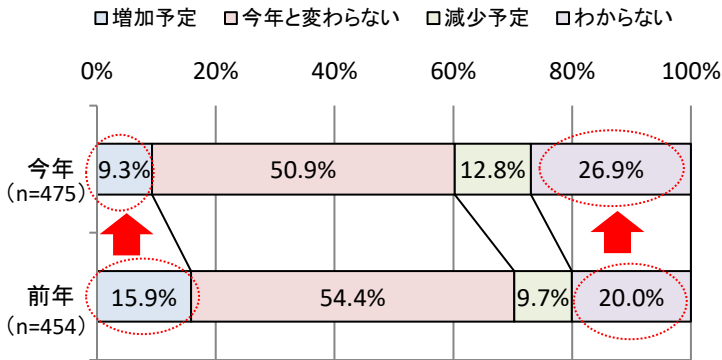


V. 次年度の新卒採用活動

<TOPICS>

- ・次年度の採用予定人数は、「今年と変わらない」が51%と最も多い。次に「わからない」が27%で続いている。前年調査との比較では、「増加予定」の企業が減少し、「減少予定」の企業が増加している(図表28)。従業員規模別では、「300人以上」の企業が「減少予定」の割合が最も高い。業種別では、「サービス業」が「減少予定」の割合が最も高く、「卸売・小売業」のみ「増加予定」の割合が「減少予定」の割合を上回っている(図表29)。
- ・採用計画立案における新型コロナの影響は、「とくに影響ない」とした企業が36%と最も多い(図表30)。
- ・次年度の採用活動状況の見通しは、4割の企業が「採用数の確保がより厳しくなりそう」と回答しているが、前年調査を19ポイント下回っている。「わからない」とした企業の割合は前年よりも12ポイント上回っている(図表31)。
- ・次年度のリモート活用意向については、「今年度リモートを活用した企業」は60%、「リモートを活用しなかった企業」は20%となっているが、「新型コロナの状況による」とした企業が5割を超えている(図表33)。

(図表28) 次年度の新卒採用予定人数



(図表29) 従業員規模別・業種別:

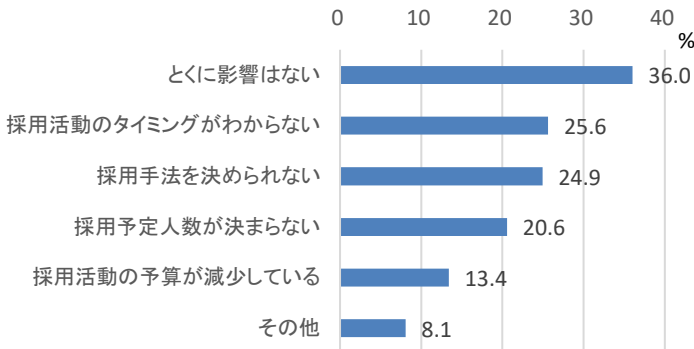
次年度の新卒採用予定人数

	増加予定	今年度と変わらない	減少予定	わからない
49人以下	5.3	43.9	9.1	41.7
50～99人	10.0	49.1	9.1	31.8
100～299人	10.7	53.4	15.3	20.6
300人以上	11.8	58.8	18.6	10.8

	増加予定	今年度と変わらない	減少予定	わからない
製造業	8.5	49.6	10.9	31.0
建設業	4.8	61.9	9.5	23.8
卸売業・小売業	14.0	43.0	9.3	33.7
サービス業	10.2	51.2	17.5	21.1
その他	3.2	54.8	12.9	29.0

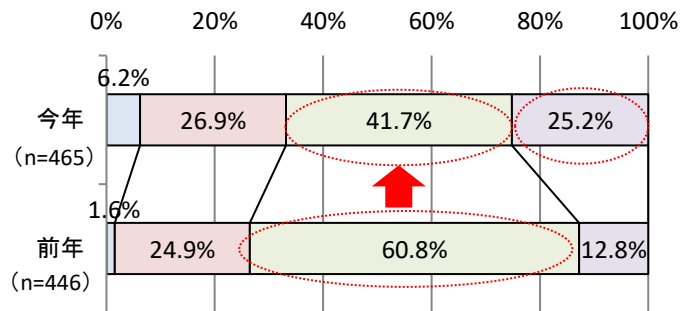
(図表30) 採用計画立案における新型コロナの影響

(n=433、複数回答)



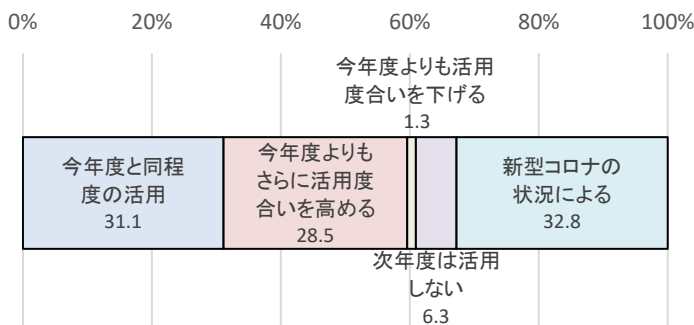
(図表31) 次年度の採用活動状況の見通し

- 採用数の確保が楽になりそう □ 特に変わらないと思う
□ 採用数の確保がより厳しくなりそう □ 全くわからない



(図表32) 【今年度リモート活用企業】

次年度リモート活用意向 (n=302)



(図表33) 【今年度リモートを活用していない企業】

次年度リモート活用意向 (n=225)

